



第93回

私のスケッチブック

「ビアトリクス・ポター 終の棲家」

カースル・コテージ／湖水地方（イングランド）



絵本作家であるビアトリクス・ポターは、イギリス湖水地方ウインダミア郊外のニアソーリー村にヒルトップ農場を取得し、そしてこの家が「ピーターラビット」の誕生の地となります。

彼女は1866年にロンドンに生まれ、16歳の時に訪れた湖水地方に魅了されて人生の師とも云われるローンズリー牧師と出会います。27歳で知人の病気見舞いの手紙にウサギをモデルにした絵手紙を送ったと云われていますから、ピーターラビットのイメージが存在していたのかも知れません。そして35歳でピーターラビットのお話を出版します。

この作品を描いた場所は、弁護士のウィリアムス・ヒーリスと結婚後にヒルトップ近くに取得したカースル・コテージの住まいとの事。何となく喫煙場所を探して歩いていると…近所の方が指差しながら「あれがポター77歳で亡くなるまで住んでいた家」と説明

されて、急いでスケッチ。

彼女の功績は、著作権料はもとより全ての財産を投げ打ってまでも、開発から“奇跡の風景”を守り続けて、湖水地方の自然をそのままの状態でも保存できた事です。彼女は520万坪とも云われる広大な土地を、ローンズリー牧師が創設したナショナルトラストに寄贈。今でも美しい四季が、訪れる人々に感動を与え続けています。

ファーソーリー村から小さな連絡船（乗る時に要注意）でボウネスへ。そこからウインダミア湖を観光船でグラスミアに向かうまでの間、移り行く夏の風景を満喫しながら、ビアトリクス・ポターの固い信念と彼女の思想を支えた多くの人達のジョンブル魂に敬服します。自然の美しさや豊かさが成熟した世界に生きる我々に課せられた、守り続けなければならない義務だと痛感する旅でした。

延原 慎吾



1946年、岡山県生まれ。現在、東京都内在住。物流会社を経営するかたわら欧州物流コンサルタントとして渡欧の際、歴史的建造物及び風景の美しさに魅せられて水彩画を始める。
2018年開催「第69回 全国カレンダー展」に10度目の入選を果たし、その実力を発揮する。
<http://www.urban.ne.jp/home/nobu36>

水彩画 延原

検索